

令和7年4月21日

阿賀野市議会議長 大 滝 勝 様

総務文教常任委員会委員長 天 野 美三男

所 管 事 務 調 査 報 告 書

本委員会は、令和7年第2回議会定例会において議決を経た、閉会中の所管事務調査を下記のとおり行ったので、会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事項 (1) 笹神体育館の改修の状況について
(2) 笹神体育館のトレーニングルームの利用状況について

- 2 調査期日 令和7年4月21日(月) 午前9時30分

- 3 調査経過

令和7年4月21日、小泉教育長、保科総務部長、吉川民生部長、齋藤市長政策・市民協働課長、五十嵐危機管理課長、西潟企画財政課長、渡邊管財課長、高橋税務課長、塚野生涯学習課長、五十嵐学校教育課長、辻会計管理者、江縫監査委員事務局長、吉川消防本部消防長、星市民生活課長及び担当職員の出席を求めて委員会を開催し、調査事項について担当課から説明を受け、質疑・意見集約を行いました。

- 4 調査結果

- (1) 笹神体育館の改修の状況について

今回の改修は、阿賀野市地球温暖化対策実行計画に基づき、CO₂削減の取組として、設備の更新時期を迎える笹神体育館に太陽光発電設備と蓄電池等の整備、館内全ての照明設備のLED化、高効率空調設備等の整備を行ったものです。

CO₂削減の効果

太陽光発電設備及び照明のLED化、LPガスを使用した空調設備の整備により、年間約79トンのCO₂の削減が見込まれています。

災害時の役割について

災害等により停電が発生した場合は、まずは太陽光発電によって賄い、夜間などで発電が不足する場合は蓄電池で電力を供給します。それでも足りない場合は既存の非常用発電機を使用します。

なお、照明は、調光機能により明るさが自動的に10%に落とされ、節約して使用することになります。蓄電池容量としては、照明で約6時間、空調で約2時間、スマ

ホ充電が 100 台分で約 8 時間を同時に使用することが可能となっています。

(2) 笹神体育館のトレーニングルームの利用状況について

トレーニングルームでは、日々の健康維持・増進や生活習慣病の予防・解消、ダイエットなど、手軽に運動を楽しんでいただけるようエアロバイクやルームランナーをはじめとする有酸素トレーニングマシンのほか、筋力トレーニングマシン、リラクゼーション機器等を設置し、利用していただいています。

トレーニングルームの利用状況、利用者数について

令和元年には 1 万 368 人の利用がありましたが、令和 2 年度にはコロナ禍の影響により、5,886 人と 4 割以上減少しました。

その後、施設の利用制限など対応が落ち着いてくるにつれまして、利用者数も増加傾向となっていますが、令和 6 年度は改修工事がありましたので、6,368 人の利用となっています。利用者の 99.8%が市内在住・在勤となっています。

シニアパスポート制度について

平成 28 年 4 月から始まった 65 歳以上の人のランニングコース及びトレーニングルームの使用料を無料とする制度で、令和 6 年度は 148 人が登録しています。

令和 6 年度のトレーニングルームの利用者のうち、シニアパスポート利用者が 64.1%となっています。

【意見集約】

笹神体育館の改修工事「阿賀野市笹神体育館再生可能エネルギー設備等導入工事」は、市の公共施設で一番の発電量である太陽光発電を活用した LED 照明、空調設備の整備、そして、災害時の避難所としての機能向上も図られる蓄電池が整備されたエコロジーな省エネ施設として整備され、市のイメージアップにつながると思います。

太陽光パネルで発電された電力は、アリーナの LED 照明や空調設備に活用され、快適な環境下で夜間はほぼ毎日定期利用団体が全面利用されているとのことで、今後は昼間の定期団体の利用増を期待します。

また、中学校の体育系部活動は、バトミントン部が半面を定期利用しているとのことで、今後の部活動の地域移行の中心的役割を担うものと期待されます。

トレーニングルームの利用状況につきましては、利用者の 64.1%が 65 歳以上のシニア世代とのことで、水原総合体育館のトレーニングルーム同様に、住み良い、いきいき元気なまちを標榜する本市の大切な健康増進の拠点施設となっています。

しかし、トレーニングルームに設置されている各種トレーニングマシンは順次更新が行われていますが、平成 15 年度、21 年度に導入したマシンは、現在故障し使えないものもあり、利用者からの取替要望もあることから、計画的に更新していただくよう意見集約されました。

以上、総務文教常任委員会の所管事務調査の委員長報告といたします。